

ビジネスカラージュニアアドバイザー資格取得講座

心理、生理の両面から、また論理的で、かつ数値的な裏付けもある、ビジネスに即した色彩学を学ぶ講座です。日常の中で人間が無意識に認知し、判断、行動へと誘導されている色彩というものを、意識レベルに引き上げ、ビジネスの中で、戦略的に選択、さらに活用できる知識と技術が身につきます。

また、講座後半では、創造、分析、プレゼンテーション力が養われるCAPトレーニング法も体験いただけます。

*CAPとは創造Creativity、分析Analysis、プレゼンテーションPresentation の頭文字をとったものです。

<講座概要>

講義時間 全 6時間（休憩・質疑応答時間あり、3時間×2）

* 2回目は講義後、筆記試験があります。試験時間は 30分です。後日結果を通知、合格された方には資格認定書をお渡しいたします。

| |
|---|
| 1 回目 色彩の基礎1 |
| 色彩心理学・生理学・色別解説・イメージカラー・色分析・トレンドカラー・カラーマーケティング |
| 色彩心理、生理の基礎、色別の意味、影響力を解説。トレンドカラーやマーケティングにどのような影響があるのか、実際の調査結果より詳しく分析、解説していきます。 |
| 2 回目 色彩の基礎2 |
| 配色法(自然の色彩法則、感動配色、本能配色、調和配色、トレンド配色) CAPトレーニング法 |
| 目的別の配色、色を使った創造力、分析力、プレゼン力アップの為のトレーニング法を解説、また体験していただきます。 |

<受講料> 35,000円(税込) 法人、団体割引有り*ご相談ください

<受講料に含まれるもの>

●講座テキスト ●カラーカード(199色) ●色見本(日本カラープランニング協会オリジナル、A4サイズ3枚)

●ビジネスカラージュニアアドバイザー資格認定書

*ビジネスカラージュニアアドバイザー資格取得後、ビジネスカラーアドバイザーへ進めます。

こんな方へお勧め

- 仕事の中で色を選択するシチュエーションがある方(営業マン、商品開発など)
- デザイン全般、設計関係の方●店舗ディスプレイ●食品・飲食系●インテリア系
- ファッション・ユニフォーム系●コンサルティング系



ビジネスカラーアドバイザー資格取得講座

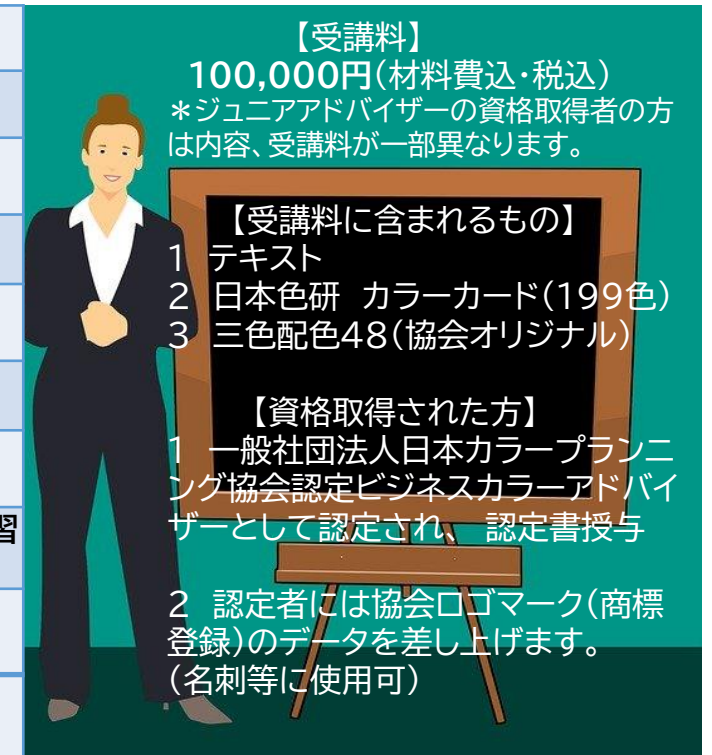
色彩心理学、色彩生理学、色彩統計学等をベースに「色」の力、効果をどう活用するかが、ビジネスに大きく影響を与え、成功へのポイントとなります。この講座では「学び」→「実践」→「即効性」をテーマとしています。講座終了後、筆記試験とショートプレゼンテーション行っていただきます。

<講座概要>

講義時間 全 12時間（休憩・質疑応答時間あり、2時間×6 回数、時間は調整可能です）

*講座終了後、筆記試験とショートプレゼンテーションを行っていただきます。後日結果を通知、合格された方には資格認定書をお渡しいたします。

| | | | |
|--------------|---------------------------|-------------------|-------------|
| 1 色彩心理学 | 色彩心理学と人間の関係性 | | |
| 1 人間の視覚と色の関係 | 2 光と色～視細胞～ | 3 色彩心理学 | 4 生理的効果 |
| 2 コンセプトカラー | コンセプトの基づいた色の選択法 | | |
| 1 コンセプトカラー | 2 ビジネスカラー理論 | 3 イメージと色 | |
| 3 配色の法則 | 現場で使える配色技法 | | |
| 1 ナチュラルカラー配色 | 2 ターゲット配色 | 3 トレンド配色 | 4 色の配分率 |
| 4 カラーマーケティング | マーケティングに更に色彩心理学の視点を付加する手法 | | |
| 1 カラーマーケティング | 2 カラーマーケティング事例 | 3 マーケティングとブランディング | 4 マーケティング演習 |
| 5 環境の色彩 | 環境の色彩の役割 | | |
| 1 住宅の色彩 | 2 店舗の色彩 | 3 景観公共の色彩 | |



【受講料】
100,000円(材料費込・税込)
*ジュニアアドバイザーの資格取得者の方は内容、受講料が一部異なります。

【受講料に含まれるもの】

- 1 テキスト
- 2 日本色研 カラーカード(199色)
- 3 三色配色48(協会オリジナル)

【資格取得された方】

- 1 一般社団法人日本カラープランニング協会認定ビジネスカラーアドバイザーとして認定され、認定書授与
- 2 認定者には協会ロゴマーク(商標登録)のデータを差し上げます。(名刺等に使用可)

こんな方へお勧め ●仕事の中で色を選択するシチュエーションがある方(営業マン、商品開発など) ●デザイン全般、設計関係の方 ●店舗ディスプレイ ●食品・飲食系 ●インテリア系 ●ファッション・ユニフォーム系